

TDS メーター

水道水や浄水器の水に溶け込んでいる不純物の濃度を測定できます。

電気の流れる量、伝導率を ppm 数値にて表示します。

不純物が多いほど電気が多く流れ、数値は大きくなります。

浄水器の水が 10ppm を超えると④メンブレン⑤カーボンのフィルター交換の目安です。④のフィルターを守るためにも年 1 回の①②のフィルターを交換することをお勧めします。

▼使用方法▼

¥ 2.200



- 1、本体保護キャップを外します。
- 2、保護キャップに水を入れ、表面中部の電源スイッチを ON にします。
- 3、本器をキャップの水に漬けます。
- 4、表示値が安定したら読み取ります。
- 5、ホールドスイッチを押すと、水から本器を出しても もう一度押すと、ホールド機能が解除されます。
- 6、使用後は電源スイッチを OFF の状態にし、蒸留水か水道水にて洗浄して保護キャップをしてください。
- 7、真ん中のスイッチは温度計です。

■TDS とは・・・

「総溶解物質濃度」と言われ水の中に溶け込んでいる不純物(導電物質)の濃度のことを言います。水に含まれる導電物質の導電率を基準に数値を表示します。

水の中に含まれる導電物質(不純物)が多ければ電気が多くながれるため数値が高くなり、導電物質(不純物)が少なければ電気が流れる量が少なくなり数値が低くなります。

導電物質の中にもカルシウムやマグネシウムなど体に有益なものも含まれていますが、全体的な目安として数値が高ければ有害物質が多く含まれていることが示唆されます。

一般的な水道水は通常 80～120PPM ぐらいですが 150PPM を超えた水は飲料水としては不純物が多いため適さないと考えられます。

■逆浸透膜浄水器のフィルター交換目安・・・

逆浸透膜浄水器のカートリッジを変える目安としては、水質や環境にもよりますが、10ppm を超えたら交換の時期が来ていると言えます。

■電池交換

電池は本器頭部のキャップを爪で引っ掛け上に引くとキャップ内に平電池（LR-44）が入っています。

100 均等で売っています。